

# 平成29年度 建築作品賞 受賞作品紹介

最優秀賞

## 軽井沢農産物等直売施設 軽井沢発地市庭



**風景に呼応する**  
建物の屋根は、敷地周辺の穏やかな山並みと調和し、また東信地域の象徴的な風景となっている浅間山に呼応するよう、うねりのある棟・軒先ラインを形成した。建物北側と南側に設けた斜めのランダムな列柱は、避暑地軽井沢の森をイメージし、屋根と一体的に特徴的な外観を形成した。また仕上材には木材のほか、杉板型枠PC打放しや浅間石張りなどを用い、軽井沢らしさを演出した。

**ダイナミックな構造材**  
建物構造は地域産唐松の大断面集成材と杉板型枠の打放しコンクリート壁で構成している。約460㎡の農産物売場はトラス構造の表しとし、躍動的かつ開放的な店舗空間とした。同様にイベントスペースも構造材表しとした。外壁・軒天には構造材と同じく地域産材の唐松羽目板張りとし、軽井沢らしい外装材を使用した。県産木材の使用量は約220㎡である。

**深い軒・通風・太陽光発電**  
本施設は、春から秋にかけての来客・施設利用頻度が高くなるという特質から、夏場の熱負荷対策として、エリアごとに外部通路で分節し、また深い軒先を設け、開口部を南北に確保することで、施設全体に通風の確保や直射日光が室内に差し込みにくい設計とした。また屋根面の一部に太陽光発電設備を設けた。

▶建設地:北佐久郡軽井沢町発地字風越2564-1他  
▶構造規模:木造、一部RC造、延べ2043.77㎡  
▶竣工:2016年3月



■設計・監理 株式会社 宮本忠長建築設計事務所  
代表取締役所長 宮本 仁夫  
長野市柳原1875-1緑神舎 TEL 026-241-5510  
http://www.t-miyamoto.co.jp

■施工 新津・柳沢特定建設工事共同企業体  
株式会社 新津組  
代表取締役社長 新津 正勝  
南佐久郡小海町小海4399-1 TEL 0267-92-2323

株式会社 柳沢建設  
代表取締役 柳澤 洋一  
北佐久郡軽井沢町中軽井沢22-6 TEL 0267-45-5458

優秀賞

## 根羽村高齢者福祉施設 ねばねの里「なごみ」



根羽村は、長野県最南端に位置し自然環境に恵まれた美しい村です。森林率は92%を占め、村民全体が山の持ち主でトータル林業を目指しています。また、矢作川の源流地として愛知県下流の自治体や企業との流域連携の輪が広がり、深まりつつあります。ねばねの里「なごみ」は、村に愛着を持った村民が「自分の家」のように最後まで村で暮らすことを願ってできた施設です。入居者や利用者にとって快適に過ごせ、介護者や管理者が働きやすい施設です。村の木をできるだけ見えるように使い、間伐材などの未利用材のバイオマスエネルギーを、薪ボイラーの燃料に使うなど地域内での資源の循環に努めています。また、太陽熱・太陽光、日射や通風などの自然エネルギーの積極的な活用によって低炭素化を推進しています。こうして「林業立村＝環境立村」を目指し「持続可能な村づくり」への転換を提案し、地域に愛され持続する「環境建築」を実践しました。

▶建設地:下伊那郡根羽村3015-362  
▶構造規模:木造平屋建て、延べ2251.39㎡  
▶竣工:2015年2月

■設計・監理 信州の美しい景観や環境を提案しつづける  
株式会社 みすゞ設計  
代表取締役 松下 重雄  
飯田市中中央通り5-15 TEL 0265-52-1638

■施工 吉川・片桐特定建設工事共同企業体  
吉川建設株式会社  
代表取締役 吉川 昌利  
本社/飯田市松尾町2-25 TEL 0265-22-3400

株式会社 片桐工務所  
代表取締役 片桐 良平  
下伊那郡根羽村2137-口 TEL 0265-49-2024(代)

優秀賞

## 佐久市 「市民創錬センター」



企画段階より「佐久市ならではの、ここでしかできない建築」を目指し佐久地域由来の材料・植栽を使用し周辺環境・風土に溶け込むように配慮しています。テラスには、全国有数の産出量である佐久市名産の鉄平石や、市民が毎日眺める浅間山の溶岩である浅間石を用い、植栽・樹木は地域由来のものを集めています。内装には県産木材、外灯には市内業者開発のLED灯を用い、地産地消・地域教育・産業振興の貢献にも寄与できる計画としています。大会議室（多機能ホール）からは地域のシンボルである雄大な浅間山を望むことができ、シビックプライドの醸成に期待した計画としています。維持管理しやすく、経済性に優れた施設とすることも重要課題であると考え設計してきました。寒冷で日照率が高いという佐久の地域特性を把握し、外皮・開口部の断熱性を高め、夏場の日射遮蔽・冬場の日射取得を可能とする庇の長さや確保、年間の冷暖房費が最小となるように配慮しています。南側ガラス面には、換気効率・通風効果の高い縦長重力換気窓を設け、中間期の快適性・心地良さを配慮し無冷暖房期間が長くとれるようにしています。また、雨・雪をすべて南側に流すことで、日射を最大限利用し凍害をなくす計画としています。

▶建設地:佐久市狭久保165-1の一部  
▶構造規模:S造、延べ1571.29㎡  
▶竣工:2015年7月

■設計 株式会社 アーキプラン  
代表取締役 竹内 邦雄  
長野市南千歳1-7-12フロムワンビル3F TEL 026-227-4831

■施工 株式会社 竹花組  
代表取締役社長 矢野 健太郎  
佐久市望月30-1 TEL 0267-53-2345

### 建築作品選考委員会

委員長 柳澤 孝彦 (東柳澤孝彦+TAK建築研究所代表取締役)  
委員 土本 俊和 (信州大学工学部教授)  
佐藤 修明 (佐藤建築設計室代表)

## 低炭素社会への対応、地産地消などの社会的課題に必須の解決



平成29年度建築作品選考委員会  
委員長 柳澤 孝彦

### 総評

春日事務局長の的確な進行に小河節郎会長お立会いのもと、土本俊和、佐藤修明、柳澤孝彦3名の審査委員で日事連建築賞の評価基準に基づき、平成29年5月13日(土)午前10時から午後3時までの5時間をかけて審議を重ね、最優秀賞1点、優秀賞2点を選出した。しかし応募作品数は7点と極めて少ないもので残念至極であった。

そもそも長野で行ったことは、地域性こそ意味がありその地でしか行われない「生活の営み」があるから。ここでの各審査員の評価のそれぞれは、その真意と共に参照されたい。私の個人的指摘を加えた作品に潜む問題点の真相に言及すれば、ねばねの里「なごみ」の膨大な駐輪に緑をなど様々である。

この応募の作品は低炭素社会への対応、地産地消などの社会的課題に必須の解決でもある。そしてこの度の応募作品に注がれた設計者の英知に敬意を表すと共に貴重な建設の機会を与えていただいた建築主各位及び関係者に感謝の意をあらわし、一般社団法人長野県建築士事務所協会の発展と会員各位の益々の御活躍を祈念し総評とする。

